

教育・保育の量の見込みと確保の内容

事業名		単位	令和2年度														評価コメント	今後の方針	令和元年度【参考】											
			計画数値			実績			評価										実績			評価								
			A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	実際の二 ズ量／計画 上の確保方 策 C／B	◎:90%～ 110% ○:70%～90% 又は110%～ 130% ×:～70%又 は130%～	実際の確保 方策／計画 上の確保方 策 D／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の利用 者数／計画 上の確保方 策 E／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の二 ズ量／実際 の確保方策 C／D	◎:70%～ 100% ○:100%～ 130% ×:～70%又 は130%～			C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	C／B	D／B	E／B	C／D					
1 1号認定（認定こども園及び幼稚園）	人	1,382	1,404	22	1,260	1,404	1,260	89%	○	100%	◎	89%	○	89%	◎	幼稚園及び認定こども園（1号）の定員1,404人を確保方策と設定し、利用希望者を全て受け入れることができた。	現在の提供体制を維持していくことで必要量を確保する。	1,354	1,404	1,354	88%	○	91%	○	88%	○	96%	◎		
(内訳)1号認定		1,130																												
2号認定（幼稚園希望者）		252																												
特定教育・保育施設			37			37	30													37	55									
確認を受けない幼稚園			1,367			1,367	1,230													1,367	1,299									
2 2号認定（認定こども園及び保育所）	人	3,427	3,728	301	3,575	3,724	3,524	95%	◎	99%	○	94%	○	95%	◎	実際の確保方策よりも利用者数が200人下回る結果となった。昨年度の実際の利用者数と比較すると13人の減少となった。	今年度の利用者も減少しているように、全体的に減少傾向にあるため、増加している3号認定の確保方策と調整を図っていく必要がある。	3,598	3,785	3,537	97%	◎	102%	◎	95%	○	95%	◎		
(内訳)東部		703	813	110	715	826	705	87%	○	101%	◎	86%	○	86%	◎			733	849	720	98%	◎	113%	◎	96%	○	86%	◎		
南部		857	934	77	920	940	907	98%	◎	100%	◎	97%	○	97%	◎			908	936	896	97%	◎	100%	◎	95%	○	97%	◎		
西部		792	892	100	842	898	832	94%	◎	100%	◎	93%	○	93%	◎			838	971	827	93%	◎	108%	◎	92%	○	86%	◎		
北部		1,075	1,089	14	1,098	1,060	1,080	100%	◎	97%	○	99%	○	103%	○			1,119	1,029	1,094	100%	◎	91%	○	97%	○	108%	○		
3 3号認定（認定こども園及び保育所＋小規模保育等）	人	1,556	1,588	32	1,511	1,519	1,405	95%	◎	95%	○	88%	○	99%	◎	市全体では、実際の利用者数、及び実際のニーズ量に対しても確保方策を満たすことができた。 なお、昨年度の実際の利用者数と比較すると62人（約4.6%）の増加となった。	引き続き、必要量確保のため、職員確保や施設改修等受入基盤の整備を行うとともに、幼稚園の認定こども園への移行、小規模保育事業への事業参入を促していく。	1,472	1,382	1,343	106%	◎	100%	◎	97%	○	106%	○		
(内訳1)0歳		168	183	15	158	169	140	86%	○	92%	○	76%	○	93%	◎			133	141	113	107%	◎	113%	◎	91%	○	94%	◎		
特定教育・保育施設			166			152	127			91%	○	76%	○						127	105			102%	◎	84%	○				
特定地域型保育事業			14			14	9												14	8										
企業主導型保育事業			3			3	4																							
1・2歳		1,388	1,405	17	1,353	1,350	1,265	96%	◎	96%	○	90%	○	100%	◎			1,339	1,241	1,230	106%	◎	99%	○	98%	○	107%	○		
特定教育・保育施設			1,355			1,300	1,211			95%	○	89%	○						1,207	1,192			96%	○	95%	○				
特定地域型保育事業			34			34	39												34	38										
企業主導型保育事業			16			16	15																							
(内訳2)0歳		168	183	15	158	169	140	86%	○	92%	○	76%	○	93%	◎			133	141	113	107%	◎	113%	◎	91%	○	94%	◎		
東部		24	28	4	21	28	19	75%	○	100%	◎	67%	×	75%	◎			18	19	13	90%	◎	95%	○	65%	×	94%	◎		
南部		56	51	▲5	35	41	31	68%	×	80%	○	60%	×	85%	◎			46	38	38	135%	×	111%	◎	111%	◎	121%	○		
西部		36	37	1	46	33	40	124%	○	89%	○	108%	◎	139%	×			33	26	28	126%	○	100%	◎	107%	◎	126%	○		
北部		52	67	15	56	67	50	83%	○	100%	◎	74%	○	83%	◎			36	58	34	81%	○	131%	×	77%	○	62%	×		
1・2歳		1,388	1,405	17	1,353	1,350	1,265	96%	◎	96%	○	90%	○	100%	◎			1,339	1,241	1,230	106%	◎	99%	○	98%	○	107%	○		
東部		260	261	1	256	258	244	98%	◎	98%	○	93%	○	99%	◎			248	229	227	102%	◎	94%	○	93%	○	108%	○		
南部		356	370	14	356	364	331	96%	◎	98%	○	89%	○	97%	◎			346	351	321	92%	◎	94%	○	86%	○	98%	◎		
西部		333	324	▲9	299	289	281	92%	◎	89%	○	86%	○	103%	○			325	271	298	118%	○	98%	○	108%	◎	119%	○		
北部		439	450	11	442	439	409	98%	◎	97%	○	90%	○	100%	◎			420	390	384	115%	○	107%	◎	105%	◎	107%	○		

事業名		単位	令和2年度														評価コメント	今後の方針	令和元年度【参考】										
			計画数値			実績			評価										実績			評価							
			A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	実際のニ ーズ量／計 画上の確保 方策 C／B	◎:90%～ 110% ○:70%～90% 又は110%～ 130% ×:～70%又 は130%～	実際の確 保方策／ 計画上の 確保方策 D／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の利 用者数／ 計画上の 確保方策 E／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の ニーズ量 ／実際の 確保方策 C／D	◎:70%～ 100% ○:100%～ 130% ×:～70%又 は130%～			C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	C／B	D／B	E／B	C／D				
1 時間外保育事業（延長保育）		人	151	151	0	125	125	125	82%	○	82%	○	82%	○	100%	◎	今年度から実施園を1園増やし、17園とした。計画数値は満たしていないが、実際の利用希望に対しては充足できている。	必要に応じて実施園を拡充し、必要量の確保に努める。	118	118	118	82%	○	82%	○	82%	○	100%	◎
(内訳)東部			30	30	0	21	21	21	70%	○	70%	○	70%	○	100%	◎			18	18	18	52%	×	52%	×	52%	×	100%	◎
南部			49	49	0	53	53	53	108%	◎	108%	◎	108%	◎	100%	◎			44	44	44	129%	○	129%	◎	129%	◎	100%	◎
西部			30	30	0	15	15	15	50%	×	50%	×	50%	×	100%	◎			23	23	23	71%	○	71%	○	71%	○	100%	◎
北部			42	42	0	36	36	36	85%	○	85%	○	85%	○	100%	◎			33	33	33	76%	○	76%	○	76%	○	100%	◎
2 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）		人	1,660	1,830	170	1,682	1,830	1,608	91%	◎	100%	◎	87%	○	91%	◎	確保方策としては、昨年度比147人分増の合計1,830人分を確保した。しかし、個々の児童クラブでは受入可能人数を上回るところが発生したため、74名の待機児童が発生した。（待機児童発生校区：豊川・三蔵子・牛久保・中部・八南・国府・桜町・御油・代田・金屋・豊・赤坂・御津南部） クラブの増設に当たっては、実際の申込状況を踏まえ、必要な小学校区に増設を行ったが、それでも待機児童が発生している。（実際に増設した校区：平尾・一宮西部） 豊川・東部・一宮西部小学校区については、C／B、E／B、C／Dの評価が"×"で、過剰に確保方策を進めているように見受けられるが、部屋単位でのクラブ室の確保と1クラブ当たり概ね40人以下の適正定員で確保を行うことによるものであり	施設の拡充と職員の確保をさらに推進する。 施設の拡充については、小学校内の部屋の他、公共施設などを借りたり、児童クラブ専用室を建設したりするなど、さまざまな方策で進めていく。 職員の確保については、優秀な人材を積極的に主任級に登用していくなどしながら安定的な運営を進めていく。	1,559	1,683	1,503	96%	◎	104%	◎	93%	○	92%	◎
小学1～3年生			1,356			1,342		1,326											1,254		1,242								
小学4～6年生			304			340		282											305		261								
(内訳) 東部			391	482	91	376	482	373	78%	○	100%	◎	77%	○	78%	◎			348	442	348	102%	◎	130%	◎	102%	◎	78%	◎
小学1～3年生			328			294		291											276		276								
小学4～6年生			63			82		82											72		72								
豊川小学校			44	70	26	43	70	41	61%	×	100%	◎	58%	×	61%	×			39	70	39	84%	○	152%	×	84%	○	55%	×
小学1～3年生			36			35		33											33		33								
小学4～6年生			8			8		8											6		6								
東部小学校			57	104	47	71	104	71	68%	×	100%	◎	68%	×	68%	×			59	104	59	98%	◎	173%	×	98%	○	56%	×
小学1～3年生			47			50		50											45		45								
小学4～6年生			10			21		21											14		14								
桜木小学校			65	78	13	70	78	70	89%	○	100%	◎	89%	○	89%	◎			69	78	69	106%	◎	120%	◎	106%	◎	88%	◎
小学1～3年生			51			54		54											55		55								
小学4～6年生			14			16		16											14		14								
豊小学校			72	72	0	71	72	70	98%	◎	100%	◎	97%	○	98%	◎			64	72	64	101%	◎	114%	◎	101%	◎	88%	◎
小学1～3年生			64			59		58											52		52								
小学4～6年生			8			12		12											12		12								
一宮東部小学校			43	44	1	39	44	39	88%	○	100%	◎	88%	○	88%	◎			44	44	44	115%	○	115%	◎	115%	◎	100%	◎
小学1～3年生			28			26		26											33		33								
小学4～6年生			15			13		13											11		11								
一宮西部小学校			77	80	3	50	80	50	62%	×	100%	◎	62%	×	62%	×			40	40	40	80%	○	80%	○	80%	○	100%	◎
小学1～3年生			75			46		46											34		34								
小学4～6年生			2			4		4											6		6								
一宮南部小学校			33	34	1	32	34	32	94%	◎	100%	◎	94%	○	94%	◎			33	34	33	183%	×	188%	×	183%	×	97%	◎
小学1～3年生			27			24		24											24		24								
小学4～6年生			6			8		8											9		9								
(内訳) 南部			439	459	20	460	462	452	100%	◎	100%	◎	98%	○	99%	◎			416	417	415	104%	◎	104%	◎	104%	◎	99%	◎
小学1～3年生			319			327		327											305		305								
小学4～6年生			120			133		125											111		110								
牛久保小学校			86	79	▲7	85	79	78	107%	◎	100%	◎	98%	○	107%	○			77	79	77	135%	×	138%	×	135%	×	97%	◎
小学1～3年生			66			65		65											63		63								
小学4～6年生			20			20		13											14		14								
中部小学校			110	120	10	105	120	104	87%	○	100%	◎	86%	○	87%	◎			100	120	100	107%	◎	129%	◎	107%	◎	83%	◎
小学1～3年生			86			75		75											77		77								
小学4～6年生			24			30		29											23		23								
天王小学校			38	36	▲2	31	36	31	86%	○	100%	◎	86%	○	86%	◎			39	36	38	66%	×	61%	×	64%	×	108%	○
小学1～3年生			28			26		26											27		27								
小学4～6年生			10			5		5											12		11								
小坂井東小学校			89	85	▲4	111	85	111	130%	○	100%	◎	130%	◎	130%	○			87	85	87	100%	◎	97%	○	100%	◎	102%	○
小学1～3年生			59			73		73											57		57								
小学4～6年生			30			38		38											30		30								
小坂井西小学校			116	139	23	128	142	128	92%	◎	102%	◎	92%	○	90%	◎			113	97	113	109%	◎	94%	○	109%	◎	116%	○
小学1～3年生			80			88		88											81		81								
小学4～6年生			36			40		40											32		32								

事業名			単位	令和2年度														令和元年度【参考】																											
				計画数値			実績			評価						評価コメント	今後の方針	実績			評価																								
				A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	実際のニ ーズ量／計 画上の確保 方策 C／B	◎:90%～ 110% ○:70%～90% 又は110%～ 130% ×:～70%又 は130%～	実際の確 保方策／ 計画上の 確保方策 D／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～	実際の利 用者数／ 計画上の 確保方策 E／B	◎:100%～ 130% ○:70%～ 100% ×:～70%又 は130%～			実際の ニーズ量 ／実際の 確保方策 C／D	◎:70%～ 100% ○:100%～ 130% ×:～70%又 は130%～	C 実際の ニーズ量 (利用希 望者数)	D 実際の確 保方策	E 実際の利 用者数	C／B	D／B	E／B	C／D																			
(内訳) 西部			人	356	364	8	372	373	335	102%	◎	102%	◎	92%	○	99%	◎	やむ得ない。 萩・千両小学校 区については、C ／B、E／B、C／ Dの評価が"x" で、過剰に確保方 策を進めているよ うに見受けられる が、部屋単位で確 保方策を進めるた め、ニーズの少な い小学校等ではや むを得ない。 赤坂小学校区に ついては、C／ B、C／Dの評価 が"x"で、確保方 策が不足している 状況にあるが、実 際の受け入れにお いてはクラブ室を 有効活用し弾力的 な受け入れを行う ことで、待機児童 の発生を抑え対応 している。 御津北部小学校 区については、C ／B、D／B、E／B の評価が"x"で、 計画上の確保方策 が不足している状 況にあるが、実際 には、ニーズ量に 見合った確保方策 に取り組み、待機 児童の発生を抑え 対応している。		335	339	308	93%	◎	94%	○	86%	○	98%	◎	284	282	282												
小学1～3年生				290			309		305										51		26																								
小学4～6年生				66			63		30																																				
国府小学校				110	105	▲ 5	110	105	101	104%	◎	100%	◎	96%	○	104%	○		97	105	97	112%	○	122%	◎	112%	◎	92%	◎	91	91														
小学1～3年生				90			89		87										6		6																								
小学4～6年生				20			21		14																																				
御油小学校				83	73	▲ 10	81	73	74	110%	◎	100%	◎	101%	◎	110%	○		81	73	72	126%	○	114%	◎	112%	◎	110%	○	69	69														
小学1～3年生				70			74		74										12		3																								
小学4～6年生				13			7		0																																				
萩小学校				8	35	27	9	35	9	25%	×	100%	◎	25%	×	25%	×		8	35	8	42%	×	184%	×	42%	×	22%	×	3	3														
小学1～3年生				4			5		5										5		5																								
小学4～6年生				4			4		4																																				
長沢小学校				21	27	6	26	27	26	96%	◎	100%	◎	96%	○	96%	◎		23	27	23	52%	×	61%	×	52%	×	85%	◎	22	22														
小学1～3年生				17			19		19										1		1																								
小学4～6年生				4			7		7																																				
赤坂小学校				35	26	▲ 9	36	26	29	138%	×	100%	◎	111%	◎	138%	×		36	26	29	72%	○	52%	×	58%	×	138%	×	29	29														
小学1～3年生				30			31		29										7		0																								
小学4～6年生				5			5		0																																				
御津北部小学校				28	18	▲ 10	37	37	37	205%	×	205%	×	205%	×	100%	◎		28	18	21	112%	○	72%	○	84%	○	155%	×	23	21														
小学1～3年生				25			35		35										5		0																								
小学4～6年生				3			2		2																																				
御津南部小学校				71	80	9	73	70	59	91%	◎	87%	○	73%	○	104%	○		62	55	58	89%	○	79%	○	84%	○	112%	○	47	47														
小学1～3年生				54			56		56										15		11																								
小学4～6年生				17			17		3																																				
(内訳) 北部				474	525	51	474	513	448	90%	◎	97%	○	85%	○	92%	◎		460	485	432	89%	○	94%	○	83%	○	94%	◎	389	379														
小学1～3年生				419			412		403										71		53																								
小学4～6年生				55			62		45																																				
三蔵子小学校				113	133	20	104	133	93	78%	○	100%	◎	69%	×	78%	◎		104	133	93	85%	○	109%	◎	76%	○	78%	◎	94	93														
小学1～3年生				103			98		93										10		0																								
小学4～6年生				10			6		0																																				
金屋小学校				42	36	▲ 6	38	36	36	105%	◎	100%	◎	100%	◎	105%	○		38	36	34	67%	×	64%	×	60%	×	105%	○	32	32														
小学1～3年生				40			36		34										6		2																								
小学4～6年生				2			2		2																																				
千両小学校				26	34	8	21	34	21	61%	×	100%	◎	61%	×	61%	×		29	34	29	93%	◎	109%	◎	93%	○	85%	◎	18	18														
小学1～3年生				19			17		17										11		11																								
小学4～6年生				7			4		4																																				
八南小学校				105	109	4	112	109	106	102%	◎	100%	◎	97%	○	102%	○		103	109	103	91%	◎	97%	○	91%	○	94%	◎	84	84														
小学1～3年生				96			94		93										19		19																								
小学4～6年生				9			18		13																																				
平尾小学校				51	73	22	55	61	55	75%	○	83%	○	75%	○	90%	◎		51	33	42	104%	◎	67%	×	85%	○	154%	×	49	42														
小学1～3年生				46			50		50										2		0																								
小学4～6年生				5			5		5																																				
桜町小学校				40	35	▲ 5	37	35	34	105%	◎	100%	◎	97%	○	105%	○		34	35	32	77%	○	79%	○	72%	○	97%	◎	30	28														
小学1～3年生				38			30		30										4		4																								
小学4～6年生				2			7		4																																				
代田小学校				97	105	8	107	105	103	101%	◎	100%	◎	98%	○	101%	○		101	105	99	99%	◎	102%	◎	97%	○	96%	◎	82	82														
小学1～3年生				77			87		86										19		17																								
小学4～6年生				20			20		17																																				

事業名	単位	令和2年度															評価コメント	今後の方針	令和元年度【参考】									
		計画数値			実績			評価								実績			評価									
		A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際のニーズ量 (利用希望者数)	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎:90%～110% ○:70%～90% 又は110%～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎:70%～100% ○:100%～130% ×:～70%又は130%～	C 実際のニーズ量 (利用希望者数)			D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	C／B	D／B	E／B	C／D				
3 子育て短期支援事業	人日	98	98	0	53	53	53	54%	×	54%	×	54%	×	100%	◎	コロナ禍による利用控えが原因と思われるニーズ量の減少はあるが、利用希望者に対してサービス量は確保できた。 また、緊急のニーズに対応するため、新たに児童養護施設2施設との業務委託契約を行った。	引き続き事業の周知に努め、利用希望に対応できるよう、予算等の確保に努めていく。	73	73	73	91%	◎	91%	○	91%	○	100%	◎
4 地域子育て支援拠点事業	人回	50,846	50,846	0	20,555	20,555	20,555	40%	×	40%	×	40%	×	100%	◎	児童館及びつどいの広場において、新型コロナウイルス感染対策のため、4月、5月を臨時休業していたこと、また、再開後も営業時間の短縮や一部利用制限などを実施したことにより、どの地域も利用の大幅な減少となった。	新型コロナウイルスの感染状況などを見極め、適切な感染対策を施しながら、ニーズに合わせた安全な運営を検討・実施していく。	42,483	42,483	42,483	42%	×	42%	×	42%	×	100%	◎
(内訳)東部		4,932	4,932	0	2,315	2,315	2,315	46%	×	46%	×	46%	×	100%	◎			4,441	4,441	4,441	19%	×	19%	×	19%	×	100%	◎
南部		10,169	10,169	0	4,876	4,876	4,876	47%	×	47%	×	47%	×	100%	◎			8,928	8,928	8,928	37%	×	37%	×	37%	×	100%	◎
西部		9,102	9,102	0	3,748	3,748	3,748	41%	×	41%	×	41%	×	100%	◎			8,469	8,469	8,469	38%	×	38%	×	38%	×	100%	◎
北部		26,643	26,643	0	9,616	9,616	9,616	36%	×	36%	×	36%	×	100%	◎			20,645	20,645	20,645	67%	×	67%	×	67%	×	100%	◎
5 幼稚園における一時預かり事業	人日	33,168	33,168	0	29,931	29,931	29,931	90%	◎	90%	○	90%	○	100%	◎	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一時預かり事業については、計画を下回る利用者数となった。	現状の提供体制を維持・継続できるように、幼稚園・認定こども園と調整を図っていく。	34,193	34,193	34,193	198%	×	198%	×	198%	×	100%	◎
(内訳)1号認定		27,120																										
2号認定		6,048																										
6 保育所その他の場所での一時預かり事業	人日	8,016	8,016	0	6,540	6,540	6,540	81%	○	81%	○	81%	○	100%	◎	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一時預かり事業は、計画を下回る利用者数となった。 子育て援助活動支援事業は、年度当初コロナ禍での在宅勤務の増加等に伴い減少したが、その後は依頼が増え実績も前年と比べ増加した。	一時預かり事業については、必要に応じて実施園や受入クラス数を拡充し、必要量を確保していく。 子育て援助活動支援事業は、継続して事業の周知を図るとともに、援助会員登録を増やせるよう各所で募集案内をし、円滑な事業の実施に努める。	－	8,653	8,653			82%	○	82%	○		
(内訳)一時預かり			7,066			4,899	4,899			69%	×	69%	×						7,410	7,410			76%	○	76%	○		
子育て援助活動支援事業			950			1,641	1,641			172%	×	172%	×						1,243	1,243			146%	×	146%	×		

事業名	単位	令和2年度																令和元年度【参考】										
		計画数値			実績			評価								評価コメント	今後の方針	実績			評価							
		A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際のニーズ量 (利用希望者数)	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎:90%～110% ○:70%～90% 又は110%～130% ×:～70%又は130%～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎:100%～130% ○:70%～100% ×:～70%又は130%～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎:70%～100% ○:100%～130% ×:～70%又は130%～			C 実際のニーズ量 (利用希望者数)	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	C／B	D／B	E／B	C／D				
7 病児・病後児保育事業	人日	1,200	600	▲ 600	404	600	9	67%	×	100%	◎	1%	×	67%	×	実際のニーズ量は利用登録者数、実際の利用者数は利用延人数とする。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今年度は実際のニーズ量、実際の利用者数ともに大きく減少した。	事業計画に基づき、令和6年度までに医療機関等と調整を図り、新たに1箇所の開設を目指すものとする。	478	600	373	34%	×	42%	×	26%	×	79%	◎
8 ファミリー・サポート・センター事業（就学児童のみ）	人日	1,000	1,000	0	833	833	833	83%	○	83%	○	83%	○	100%	◎	子育て援助活動支援事業では、年度当初緊急事態宣言発出等により小学校の休校、習い事の休み、保護者の勤務形態の変化等に伴い減少していたが、解除後は依頼会員の増加もあり実績は前年と比べて増加。	継続して事業の周知を図るとともに、援助会員の登録を増やし、円滑な事業の実施に努める。	509	509	509	34%	×	34%	×	34%	×	100%	◎
9 利用者支援事業	か所	3	3	0	3	3	3	100%	◎	100%	◎	100%	◎	100%	◎	子育て支援センターにおける基本型と保健センターにおける母子保健型に加え、保育課における特定型（保育コンシェルジュ）を令和2年度から実施した。	基本型と母子保健型、特定型の情報共有を図りつつ、連携して支援を行う。	2	2	2	100%	◎	100%	◎	100%	◎	100%	◎

事業名	単位	令和2年度															令和元年度【参考】											
		計画数値			実績			評価								評価コメント	今後の方針	実績			評価							
		A ニーズ量	B 確保方策	B-A	C 実際のニーズ量 (利用希望者数)	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	実際のニーズ量／計画上の確保方策 C／B	◎:90～110% ○:70～90% 又は110～130% ×:～70%又は130～	実際の確保方策／計画上の確保方策 D／B	◎:100～130% ○:70～100% ×:～70%又は130～	実際の利用者数／計画上の確保方策 E／B	◎:100～130% ○:70～100% ×:～70%又は130～	実際のニーズ量／実際の確保方策 C／D	◎:70～100% ○:100～130% ×:～70%又は130～			C 実際のニーズ量 (利用希望者数)	D 実際の確保方策	E 実際の利用者数	C／B	D／B	E／B	C／D				
10 妊婦健康診査事業	回	21,294	21,294	0	17,952	17,952	17,952	84%	○	84%	○	84%	○	100%	◎	令和元年度とほぼ同数であった。母子手帳交付時に受診を促すことで、妊婦の健康管理を図ることができた。	引き続き母子手帳交付時などで、受診を促していく。	17,954	17,954	17,954	81%	○	81%	○	81%	○	100%	◎
11 乳児家庭全戸訪問事業	人	1,386	1,386	0	1,386	1,386	1,386	100%	◎	100%	◎	100%	◎	100%	◎	令和元年度の実績に比べ増加傾向。	今後も子育て支援課の養育支援訪問事業と連携をしながら事業を実施していく。	1,307	1,303	1,303	83%	○	83%	○	83%	○	100%	◎
12 養育支援訪問事業	回	860	860	0	716	716	716	83%	○	83%	○	83%	○	100%	◎	養育支援が必要な家庭との信頼関係を構築し、出産後早期から家庭の不安軽減につなげることができた。 また、妊娠中から漏れなく支援を行うため、医療機関等との定期的な連絡会議を開催し、連携強化に努めることができた。	引き続き、養育支援が必要な家庭に対し、子が概ね1歳に達するまでの家庭訪問を実施し、必要があればその後も継続的な訪問を実施する。	758	758	758	194%	×	194%	×	194%	×	100%	◎
13 実費徴収に係る補足給付を行う事業	人	194	194	0	157	157	157	80%	○	80%	○	80%	○	100%	◎	認定世帯について、必要量を確保し、支援を実施できた。	引き続き、必要量を確保し、支援を実施する。											

※計画策定時にニーズ量(見込み)よりも確保方策の方が少ないものについては、計画上、令和6年度末までに達成することとしています。